

2021年度 まことこども園 自己評価公表シート

1・園の教育保育目標

「優しい思いやりのある子」

「明るい元気な子」

「何事にもがんばる子」

を教育保育目標とし、乳幼児期にふさわしい環境の下で、友達や保育者と楽しく充実した生活を営み、そして人間として生きる力の基礎となる、豊かな心、意欲、態度を育てること、すなわち『こころの育ち』を支えることを本園の目標としています。

2・2021年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに、設定した園評価の具体的な目標や計画

保育棟

安全で清潔な環境の中で愛着関係を深め、安心して過ごせるようにする。マスクをしていても感情や意思が伝わるよう意識をして保育を行っていく。

幼児棟

戸外遊びを積極的に行い身体を動かすことで、ウイルスに負けない身体・心を育てていく。

子ども達の体調をよく見極め、園内を安全に保てるよう努める。

職員

昨年度から引き続き社会状況を鑑みながら保育や行事等を考え行っていく。園内を清潔に保ち自分自身の体調も管理しながら保育に取り組む。

3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
愛着形成を基本とし、子供たちが安心して毎日登園出来るよう、一人一人の状況をよく把握する。	A	子ども達の状況を日々記録し、一人一人の発達状況を理解しながら保育を行うことができた。子ども達の不安を受け止め、少しずつ解消する事で愛着形成を育み、園が安心できる場所だと感じ登園してもらうことが出来た。
食事や運動を基本とし、日々の保育の中で友達や保育者との関りを楽しむ。子どもたちの意欲を引き出し、音楽・造形・英語など何事も楽しむ。	A	室内でも工夫(感染対策)をしながら保育を行うことで、造形や英語・音楽も以前のように子ども達の意欲を引き出す保育を行うことが出来た。戸外遊びではマスクを外し、のびのびと遊ぶ姿が見られた。
職員の資質向上の為に、研修等に参加し、乳幼児理解に努める。	B	今年度は研修がオンラインになる事が多くなり、現地ではなく園から参加する形に変化していった。徐々に研修の数も増えてきていたので、昨年と比べると参加した研修は増え、積極的に勉強出来たと感じる。

怪我、事故、災害時には職員全員が行動できるよう、安全に関する項目の共通理解を図る。また、園内環境整備にも目を配る。	A	コロナ対応は市と話し合いをしながら進め、突然の陽性者にも慌てず対応出来たと感じる。怪我、事故の対応に関しては毎年、研修で学んだ知識を園で共有することで自分の役割を理解しながら行動できた。防犯訓練も状況を想定しながら訓練に取り組んだ。
保護者との信頼関係の構築に努める。	A	行事の変更などは、社会状況を見極めながら保護者に理解をしてもらい進めていった。園での感染拡大防止の為に兄弟関係での決まり事を作成したが、保護者の皆様にもご理解頂き、遵守して頂いた結果、長期間の休園等にはならずにご過せた。

4・園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の2年間で感染対策をしながらの保育には慣れてきたように感じている。年少以上の園児にはマスクの着用もご理解頂きながら行っている。今年度は幼児や小学生にも感染が広がった為、兄弟関係の欠席条件を厳しくしましたが、結果的には感染拡大を抑えられた。 ・行事に関しては、子ども達に何を体験させたいか、どの様な事を感じ取って欲しいかを再度考え、一つ一つの行事のあり方を見直してみる良い機会となった。また、大きな行事では保護者の参加人数を減らすことで密を避け、構想していた内容で行うことができた。 ・オミクロン株が主流になってからは、風邪なのか、喉が痛いだけなのか、もしくは感染しているのか判断するのがとても難しく、職員の体調管理の大切さを感じた一年間になった。 ・保護者の方から寄せられた意見については、丁寧に説明をし、意見を参考にしながら進めていけたと感じている。保護者の皆様にも園の方針をご理解頂きながら過ごすことが出来たのかと思う。

5・今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全・衛生面の強化	保護者、家族等のコロナウイルス感染時(PCR検査)の連絡の徹底と、体調不良時に登園を配慮して頂くお願い。兄・姉の学校が学級閉鎖時は園児は欠席。感染拡大防止対策の強化。
地域や関係機関との交流や連携	筑波大学 生活支援学研究室との連携 消防署との連携 (AED使用講習等)
小学校との連携	小学校へよりスムーズに進学出来るよう、交流を図る。 小学校の先生にも子どもたちの園での様子を見て頂き、理解してもらえよう進めていきたい。また、小学生と園児が接する時間を、引き続き設けていく。

◎「3・4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である